

京都光華文化講座

東京会場

日時 平成30年9月14日(金)／18:30～20:30(18:00開場)

第一部 「釈尊伝で重要なこと」

80歳の生涯をおくられたお釈迦さまのご一生の中でどの出来事、事件が最も大事なことであったか考えたい。ご誕生か、成道か、初転法輪か、入涅槃か？お釈迦様の仏教と後の大乘仏教や親鸞聖人の教えとはいかなる点でつながるのか確認したい。現代社会で要請される「慈悲」の原点をさぐりたい。

講師：一郷 正道 (京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部 学長)

第二部 「未来のエネルギーをどう確保するか」

東日本大震災に起因する原発事故は我が国のエネルギーのあり方を根幹から揺るがしました。現在、火力発電所の再稼働が二酸化炭素の排出を助長し、地球温暖化に拍車をかけています。一方、原発再稼働については司法でもその判断が分かれるほど混迷を極めています。このような私たちの未来のエネルギー問題について考えると同時に、仏教の教えが、古くから環境問題に警鐘を鳴らし続けてきたことを紹介していきます。

講師：高野 拓樹 (京都光華女子大学 キャリア形成学部 准教授)

定員 50名

会場 京都アカデミアフォーラムin丸の内(新丸ビル10階) (東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階)

■ JR東京駅丸の内中央口・北口徒歩1分 ■ 東京メトロ丸の内線 東京駅直結

日時 平成30年9月15日(土)／14:00～16:00(13:30開場)

第一部 「古拙の微笑(アルカイックスマイル)と慈悲」

同じく「アルカイックスマイル」と評されるモナリザの微笑と法隆寺夢殿の救世観音のそれとはどう違うのか。救世観音の精神とは何か。救世観音と親鸞聖人とはいかにつながるのか。現代社会で必要とされる慈悲について考えたい。

講師：一郷 正道 (京都光華女子大学・京都光華女子大学短期大学部 学長)

第二部 「地球環境クライシス」

現在、北極の氷の面積は過去最少を記録し、大型台風により多くの方が命を落とすなど、環境問題が惹起する現象が世界中で起きています。ここでは、世界に衝撃を与えたさまざまな環境問題を提示すると同時に、我々人類がめざす循環型社会について考えていきます。さらに、仏教精神が環境問題解決に極めて重要な役割を担っていることを論じていきます。

講師：高野 拓樹 (京都光華女子大学 キャリア形成学部 准教授)

定員 50名

会場 真宗大谷派 福井東別院 講堂(本堂1階) (福井市花月1丁目2-36)

■ JR福井駅より徒歩20分、タクシーで5分 ■ 京福バス「西公園前」バス停より徒歩2分

■ 北陸自動車道・福井北インター／福井インターより車で20分

協力 真宗大谷派 福井東別院

参加無料・要申込



京都光華女子大学
京都光華女子大学短期大学部

【お申込み・お問合せ】

地域連携推進センター／〒615-0882 京都市右京区西京極葛野町38
TEL.075-325-5259／FAX.075-325-5287
E-mail▶chiiki@mail.koka.ac.jp URL▶http://www.koka.ac.jp

申込方法 お電話にて、お名前、お電話番号、参加希望日をお知らせください。

申込期間 定員になり次第、受付終了

受付時間 平日9:00～17:00(土日祝日、学休日 8/11～8/16を除く)